

第64回男子・第37回女子
全日本学生ホッケー選手権大会

第1日目

開催日時 10 月 30 日 (金) 会場 立命館ホリーズスタジアム・親里ホッケー場 天候 晴れ

【各試合の結果・詳細】

9:30～

立命館ホリーズスタジアム第1試合

東京農業大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 0 & - & 3 \end{pmatrix}$ 5 立命館大学

2	PC	6
5	シュート数	13

得点	東京農業→		
	立命館→2分上館、29分上館、37分上館、54分佐々木、69分横田		
戦評	立命館大学のセンターパスにより、前半戦が開始。2分#19上館のスィープシュートで立命館が先制。その後も立命館大学は20分、21分、25分と立て続けにPCを獲得。しかし、追加点を奪うことができない。東農大もカウンターから28分にPCを獲得するも、追いつくことができない。そして、29分、#19上館タッチシュートで2-0と立命館がリードを広げ、前半戦を終了する。後半戦に入っても、立命館の勢いは止まらず、37分、#19上館がこの試合3点目をヒットシュートで決める。その後、両チーム激しい攻め合いが続き、54分に東農大がPCを獲得するも得点とならず。直後に立命館がPCを獲得。#18佐々木がリバウンドをリバーシットで決め、4-0の試合を優位に進めていく。さらに試合終了間際、立命館がPCを獲得。#6横田がタッチシュートを決め5-0とし、試合終了。立命館が勝利を収めた。		
テクニカルオフィサー	長田和雄	アンパイア	福山秀人
ジャッジ	松宮弘・板橋秋穂		野澤達

11:00~

立命館ホリーズスタジアム第2試合

山梨学院大学 3 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 関西学院大学

8	PC	2
19	シュート数	5

得点	山梨学院→62分岩館、65分鈴木、68分藤井		
	関西学院→		
戦評	<p>関西学院大学のセンターパスにより前半戦が開始。2分、山梨学院大学がPCを獲得し、フリックシュートを放つが、ゴールポストを直撃し惜しくも得点にはつながらない。その後は一進一退の激しい攻防が繰り広げられる。関学は5分及び7分に立て続けにPCを獲得するが、山梨の固い守りに阻まれる。対する山梨もPCを獲得し、フリックシュートを中心に攻めるが得点にはならない。時間が経つにつれ、山梨が攻勢を強める。しかし関学の粘り強いディフェンスが得点を許さず、両チーム無得点のまま前半戦を終了した。</p> <p>後半戦が開始。関学は開始直後からPCを立て続けに獲得するも、得点にはならない。52分、山梨#12河村がディフェンスラインの裏へ抜け出し、GKと1対1となるが、リバースヒットを決めることができない。しかし62分、山梨はゴール前に攻め込み、#21岩館がプッシュシュートを決め、ついに均衡を破る。さらに山梨は64分にPCを獲得し、#6鈴木がタッチシュートを決め2-0となる。69分にも山梨はPCからPCから#20藤井がフリックシュートを決め、リードを広げる。このまま試合は終了し、3-0で山梨学院大学が勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	松下正寿	アンパイア	藤原真由美
ジャッジ	板橋秋穂・光田清治		Sunny Wang

12:30~

立命館ホリーズスタジアム第3試合

神戸大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 7 \\ 0 & - & 5 \end{pmatrix}$ 12 福井工業大学

0	PC	15
0	シュート数	34

得点	神戸→		
	福井工業→5分田中、9分峯、14分石山、16分佐藤、29分丸、31分水田、33分川崎、40分安川、44分和田、48分田中、56分和田、69分丸		
戦評	<p>神戸大学がヒットを放ち試合開始。試合序盤に福井工大の猛攻を仕掛け4分にPCを獲得。#15田中のフリックシュートが炸裂し先制。その後も神戸大学が懸命なディフェンスも見せるも福井工大は10分、14分、16分、29分、31分、33分に立て続けに点を入れ大量7点のリードをする。神戸大学には苦しい時間となり前半を終了する。後半も福井工大の勢いは衰えず40分、44分、48分、56分にゴールを決め11-0と2桁得点を記録。神戸大学も一矢報いたかったがホーンが鳴り11-0と福井工大が勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	長田和雄	アンパイア	富山喜正
ジャッジ	島田若奈・松宮弘		福山秀人

14:00~

立命館ホリーズスタジアム第4試合

一橋大学 2 $\begin{pmatrix} 2 & -1 \\ 0 & -3 \end{pmatrix}$ 4 東海学院大学

3	PC	6
5	シュート数	9

得点	一橋→4分児玉、20分富田		
	東海学院→24分三島、36分井関、44分青山、68分瀬川		
戦評	<p>一橋大学のセンターパスで前半戦が開始された。一橋大学が2分にシュートを放つが枠を捉えきれない。さらに4分に一橋大学がPCを獲得し、#14児玉がタッチシュートを決め先制する。さらに19分に一橋大学は再びPCを獲得し#2岩田のフリックシュートを#富田がタッチを決め2-0とリードを広げる。対する東海学院大学も24分、PCから#10三島がフリックシュートを決めて、2-1と点差を縮める。その後は一進一退の攻防を続け、2-1で一橋大学がリードして前半戦を終える。後半開始早々、東海学院大学はスクープから相手のミスを誘い#7井関がブッシュシュートを決め2-2と同点に追いつく。東海学院大学は勢いに乗り44分#8青山がリバースヒットをゴールにたたきこみ、3-2と逆転する。その後、東海学院大学は追加点を奪い、4-2で東海学院大学が勝利を収めた。</p>		
テクニカルオフィサー	松下正寿		アンパイア
ジャッジ	光田清治・板橋秋穂		
			杉浦利哉 野澤達

9:30~

親里第1グラウンド第1試合

関西大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & -3 \\ 0 & -4 \end{pmatrix}$ 7 天理大学

0	PC	9
0	シュート数	21

得点	関西→		
	天理→20分伊藤、28分伊藤、33分比嘉、39分松本、40分河内、42分高田、63分宿利		
戦評	<p>関西のセンターパスにより開始された。立ち上がりから天理は関西陣内で優位にゲームを進める。堅守を見せていた関西だったが、20分、天理#22伊藤が#21村山のパスをタッチシュートで決め、天理先制。24分、PCを連続で獲得するが得点することが出来ない。28分、天理#22伊藤が#10松本からパスを受け、ブッシュシュートを決め2-0とする。33分、#31比嘉リバウンドを押し込み3-0とし、前半を折り返す。天理は後半も攻撃の手を緩めず、39分、#10松本がリバースシュートを決める。40分、#12河内が#7江村のダイレクトパスをタッチシュートを決める。42分、#13高田が#7江村のパスをタッチシュートで決め、5-0と突き放す。63分、#16宿利が関西DFの弾いたボールをダイレクトシュートでダメ押しの得点を決める。結局7-0で天理が勝利する。</p>		
テクニカルオフィサー	久木寿一		アンパイア
ジャッジ	府金尚輝・西脇栄子		
			伊藤幸子 我妻順子

11:00～

親里第1グラウンド第2試合

東海学院大学 19 $\begin{pmatrix} 9 & - & 0 \\ 10 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 北海道大学

10	PC	0
42	シュート数	0

得点	東海→3分田村、7分的場、11分的場、14分田村、20分田村、25分八木、31分森下、32分真野、34分真野、39分森下、42分的場43分清水、44分鳥山、46分的場、48分清水、53分岡本、60分鳥山、63分八木、67分鳥山		
	北海道→		
戦評	<p>北海道のセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりから東海が猛攻を仕掛ける。3分、東海#8真野がエンドラインをドリブルで切り込みパス、#15田村が落ち着いてタッチシュートを決め先制。7分、#21鳥山の打ち込みを#2的場がタッチシュートで決める。11分、東海がPCを獲得。#2的場がヒットシュートで決める。14分、#15田村がGKが弾いたボールを決める。立て続けに#15田村が決める。25分、#14八木がリバースシュートを決める。31分、#7森下がDFをかわしヒットシュートを決める。32分、#8真野がドリブルでサークル内に進入しヒットシュートを決める。立て続けに#8真野が決め、9-0で前半を折り返す。</p> <p>東海は後半も猛攻を緩めず、39分、#7森下が#21鳥山のパスをタッチシュートで決める。42分、#20星、43分、#9清水のリバースシュートが立て続けに決める。44分、#21鳥山が#9清水からパスを受け、ヒットシュートを決める。46分、東海PCを獲得。#2的場がスイープシュートで決める。48分、#9清水がリバースシュートを決める。53分、#5岡本が#15田村のパスをタッチシュートで決める。60分、#21鳥山が#9清水からパスを受け、ヒットシュートで決める。63分、#14八木がGKの弾いたボールをヒットシュートで決める。67分、#21鳥山がリバースシュートを決める。結局19-0で東海が勝利する。</p>		
テクニカルオフィサー	中野典子		アンパイア
ジャッジ	西山雅代・中坪真希		稲元南 谷川昌子

12:30～

親里第1グラウンド第3試合

東京農業大学 6 $\begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 中京大学

4	PC	2
14	シュート数	0

得点	東京農業→14分元村、18分松村、23分小野、36分丹内、65分岩崎、66分丹内		
	中京→		
戦評	<p>東京農業のセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりから東京農業は中京陣内で優位にゲームを進める。中京#7小川にグリーンカードが与えられる。東京農業は13分、PSを獲得。#11本村が落ち着いて決め先制。17分、PCを獲得。#9松村がフリックシュートを決める。22分、#6小野がヒットシュートを決め3-0とする。東京農業#13小林にグリーンカードが与えられる。中京26分、PCを獲得するが得点することが出来ない。3-0で東京農業のリードで前半を折り返す。</p> <p>東京農業は後半も攻撃の手を緩めない。36分、#2丹内が#8青山からパスを受けヒットシュートを決める。その後、両チーム激しい攻防が続くが得点することが出来ない。66分、東京農業#7岩崎が#8青山の打ち込みをタッチシュートで決める。68分、#2丹内がパスを受け、リバースシュートを決めダメ押し。結局6-0で東京農業が勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	大橋守		アンパイア
ジャッジ	西脇栄子・府金尚輝		小原直也 加藤拓馬

14:00~

親里第1グラウンド第4試合

立教大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$ 2 東京大学

6	PC	3
5	シュート数	5

得点	立教→		
	東京→25分国府田、45分田中		
戦評	<p>東京のセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チームとも激しい攻防を繰り広げる。14分、立教がPCを獲得するが得点することが出来ない。チャンスを先に得たのは東京。分、PCを獲得。#11藤井のパスでDFをかわし#2国府田が上手くフリックシュート決め先制。その後は一進一退の展開を続けるが両チームとも得点に結びつけることが出来ず、1-0の東京リードで前半を折り返す。</p> <p>後半も両チーム激しい攻防を続ける。45分、#9中田が#10小林のゴール前へのパスを押し込み2-0とリードを広げる。追いつきたい立教は前線へパスを繋げるが得点することは出来ない。その後は両チームとも得点のチャンスは無く、東京が2-0で勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	荻谷和代	アンパイア	成田健一
ジャッジ	西山雅代・中坪真希		西山宏明

9:00~

親里第2グラウンド第1試合

京都大学 2 $\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 1 & -1 \end{pmatrix}$ 1 関西大学

7	PC	6
11	シュート数	6

得点	京都→28分叶、53分横山		
	関西→51分瀬川		
戦評	<p>関西大学のセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりから両チームとも激しい攻防を繰り広げる中、先にチャンスを得たのは関西大学。PCを獲得するがFW#5菅野のヒットシュートは惜しく枠を外れる。14分、DF#14瀬川がドリブルで強引に攻めるも京都大学の堅い守りを崩す事が出来ず、得点のチャンスを掴む事が出来ない。28分、京都大学FW#27猪伏がPCを獲得。#18飯田のパスから#24叶がフリックシュートを決め先制。その後も、互いにPCを獲得するが得点に繋げる事が出来ず1-0の京都大学リードで前半を折り返す。</p> <p>後半開始早々、京都大学が38分、39分、42分と立て続けにPCを獲得。しかし、GKのファインセーブもあり追加点を挙げる事が出来ない。同点に追いつきたい関西大学は51分、DF#14瀬川がドリブルでサークルに入り、ブッシュシュートでゴールを決め1-1とした。53分、京都大学FW#27猪伏がゴール前にスルーパスを出し、これをFW#26横山がレシーブからブッシュシュートで決め2点目を挙げる。同点に追いつきたい関西大学は66分、FW#5菅野がPCからヒットシュートを放つが京都大学GK大場のファインセーブにより得点に繋げる事が出来ない。試合終了間際、関西大学が立て続けにPCを獲得するが得点には繋がらず、2-1で京都大学が勝利し2回戦進出を決めた。</p>		
テクニカルオフィサー	大橋守	アンパイア	大熊穂高
ジャッジ	山本篤人・久富隆太郎		押田幸二

11:00~

親里第2グラウンド第2試合

聖泉大学 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 慶應義塾大学

7	PC	0
2	シュート数	2

得点	聖泉→66分伊藤		
	慶應義塾→		
戦評	<p>慶應義塾大学のセンターパスにより試合が開始された。3分、慶應義塾が素早い攻撃からPCを獲得。しかし、聖泉GK西田のファインセーブに阻まれ得点に繋げる事が出来ない。その後も、両者互いに譲らない攻防が続く中25分、聖泉が素早いパス回しからゴール前まで攻めるも慶應義塾GK本名のファインセーブに阻まれ得点に繋げる事が出来ない。前半終了間際、32分に聖泉大学がPCを獲得。しかし、慶應義塾の堅いDFに阻まれ、両者得点を挙げる事が出来ないまま前半を折り返す。</p> <p>後半開始直後、聖泉がPCを獲得するがFW#10樋口のフリックシュートは慶應義塾GK本名のファインセーブにより得点には至らない。その後、50分、56分、62分と立て続けにPCを獲得するが慶應義塾の堅い守りに阻まれ得点を挙げる事が出来ない。65分、聖泉がゴール前の混戦からFW#11伊藤がプッシュシュートを決め1-0とする。残り時間が少ない中、慶應義塾は同点に追いつこうと果敢に攻めるが、聖泉のゴールを割る事が出来ず試合が終了し聖泉大学が勝利した。</p>		
テクニカルオフィサー	荻谷和代	アンパイア	渡邊道彦
ジャッジ	久富隆太郎・樋口修		細川祐司

12:30~

親里第2グラウンド第3試合

北海道大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 8 \\ 0 & - & 6 \end{pmatrix}$ 14 関西学院大学

1	PC	10
1	シュート数	25

得点	北海道→		
	関西学院→10分塚口、19分関谷、23分石田、24分松本、26分塚口、31分小山、33分西本、35分和田、40分栞原、44分田中、45分栞原、48分石田、59分石田、63分塚口		
戦評	<p>北海道大学のセンターパスにより試合が開始された。序盤から関西学院が優勢に試合を進める中、10分関西学院DF#8塚口がフリックシュートを決め先制点を挙げる。追加点を挙げたい関西学院は19分、FW#14関谷がリバウンドのボールを押し込み2-0とする。その後、立て続けに23分にFW#11石田、24分にFW#10松本、26分にFB#8塚口、31分にMF#30小山、33分にFB#17西本、35分FB#8塚口が得点を決め、8-0で前半を折り返す。</p> <p>関西学院の猛攻を防ぎたい北海道は必死でディフェンスをするも防ぎ切る事が出来ず、40分に関西学院がPCを獲得。これを、FB#18栞原がフリックシュートで決め9-0となる。4分後、関西学院FW#9田中が豪快なシュート決め10-0と点差を広げる。その後、45分に関西学院FB#18栞原がPCから得点。その後、FW#11石田が45分、59分と連続で得点を挙げ13-0となる。試合終了間際、関西学院FB#8塚口が14点目の得点を挙げ試合が終了した。</p>		
テクニカルオフィサー	久木寿一	アンパイア	山内秀文
ジャッジ	樋口修・山本篤人		大熊穂高

14:00~

親里第2グラウンド第4試合

駿河台大学 4 $\begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 甲南大学

1	PC	5
11	シュート数	6

得点	駿河台→2分小林、5分小林、29分中村、59分森		
	甲南→69分原田		
戦評	<p>甲南大学のセンターパスにより試合が開始された。2分、駿河台FW#27小林がブツシュートを決め先制点を挙げた。5分、駿河台FW#27小林が豪快なヒットシュートを決め2-0とする。激しい攻防が続く中、甲南が24分にPCを獲得。FW#13橋本がフリックシュートを放つが、惜しくも枠を外した。駿河台が29分にPCを獲得。キーパーのリバウンドボールをFW#8中村が決め、3-0で前半を折り返す。</p> <p>後半開始直後、駿河台FW#25永島がスピードに乗ったドリブルで抜け出しヒットシュートを放つがゴールの横をかすめる。49分、甲南がPCを獲得するが得点に繋げる事が出来ない。58分、駿河台FW#22森がカウンターから得点を挙げ4-0とする。31分、甲南がPCを獲得するが駿河台GK岩瀬の好セーブに阻まれる。試合終了間際、甲南FB#14原田が見事なヒットシュートを決め4-1で試合が終了した。</p>		
テクニカルオフィサー	中野典子		アンパイア
ジャッジ	山本篤人・久富隆太郎		
			渡邊道彦
			押田幸二